



あの未曾有の大災害から、10年が経ちました。

東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故、そして長期の避難生活のために命を落とされた方々に、あらためて哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての方々、未だ避難先にて不自由な避難生活を強いられている方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

また、これまで浪江町民と浪江町に対し、国内外から多くのご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

平成23年3月11日、浪江町は震度6強の強烈な揺れと15メートルを超える大津波によって、沿岸部の請戸、棚塩（南棚塩）、中浜、両竹地区に壊滅的な被害を受け182人の尊い命を失いました。そして、翌日発生した福島第一原子力発電所の事故によって全町避難を余儀なくされ、21,000人余りの全町民が着の身着のまま避難することとなりました。そうした過酷な避難生活の結果、多くの方々が震災関連死として、無念にも命を落とされています。

あの日を境に私たちの日常は奪われ、誰もが必死に走り続けた10年間でした。様々な困難とともに月日は流れ、今も、ふるさとの復興は道半ばであります。

しかし、止まない雨は無い、明けない夜は無い。前を向かなければなりません。町が再び賑わいを取り戻すまで、すべての力を結集し、ふるさと再生に取り組んでまいります。

私たちは今を生きる者として、将来を担う子や孫たちに町の財産である歴史、文化、産業等を引き継いでいく責任があります。この重大な責任を果たすため、本誌を「震災の記憶・記録」、「復興への軌跡」だけにとどまらず、皆さんの「ふるさと浪江」への“想い”までもしっかりと反映したものにしたいと考え、町の各地区、様々な世代、立場の方々からお話を伺ってまいりました。お忙しい中ご協力いただいた方々に、改めて御礼を申し上げます。

たとえ離れていても本誌が、あの懐かしい「震災前の町」から、現在の「復興期」、そして「町の未来」へと、私たちの想いをつなぐ絆となることを願っています。

末筆になりますが、今日の復興の礎を築かれ、志半ばで逝去された馬場前町長に対し、改めて感謝申し上げるとともに、心から哀悼の意を表します。

町の復興には未だ課題が山積しておりますが、議会並びに町民の方々と力を合わせ、将来にわたり安心して暮らせる「持続可能なまちづくり」に全力で取り組んでまいります。

令和3年6月吉日

浪江町長 吉田 数博

2 未来へつなぐ 浪江の記憶

10 発刊にあたって

15 第一章 東日本大震災および原子力災害の記憶

あの日から10年。東日本大震災における地震・津波被害、および東京電力福島第一原子力発電所が浪江町にもたらした影響、町の被害状況を写真・各種データなどとともに振り返ります。

16 浪江町の概要

18 東日本大震災の概要

20 津波の概要

22 原子力災害の概要

24 浪江町の被害

26 各地区の被災状況

29 第二章 発災から復旧期まで。
浪江町が歩んだ激動の10年

発災時の町の様子、津島地区から二本松市東和への避難、2017（平成29）年3月31日の避難指示解除後の町の復旧・復興の様子、休校・閉校することになった町内小・中学校の歴史などについて触れます。

30 **2011.3.11**

3月11日 初動期の対応

32 **2011.3.11**

発災直後の町の状況

34 **2011.3.12**

津島地区への避難

36 **2011.3.13～15**

津島地区から二本松へ再避難

38 **2011.3.16～**

二本松市東和支所・避難所での対応

40 **2011▶2012**

二次避難、始まる

42 **2011▶2012**

応急仮設住宅の入居募集開始

44 **2011.4.22** 浪江町 避難の足跡① 浪江町が「警戒区域」となる。

45 復興ビジョンの礎「暗中八策」

46 座談会「避難、そのとき私たちは。」

54 **2012▶2013**

ふるさとなみえの再生に向けた復旧元年

58 浪江町復興計画【第一次】

60	特集Ⅰ	あの時、あなたの笑顔があったから
64		全国から浪江町に寄せられた支援
66	2013▶2014	ふるさとを離れて1,000日超。復旧・復興計画に着手
68	2013.4.1	浪江町 避難の足跡② 避難区域再編
70	2014▶2015	町民一人ひとりの選択、復興のターニングポイント
74		浪江町復興まちづくり計画
76	2015▶2016	震災から5年目。復旧・復興を目に見える形に
80	2016▶2017	復旧実現期の最終ステージ。課題をクリアしながら、漸進
84	2017.3.31	浪江町 避難の足跡③ 避難指示解除
86	2017▶2018	町の将来をかけて地域コミュニティを再構築
90		浪江町復興計画【第二次】
92	2018▶2019	町のこしのバトン。その想いは次代に託された
96	2019▶2020	新しいふるさとづくり。復興の種が芽吹く
100	2020▶2021	東日本大震災および原発事故から10年 ふるさとの再生に向かって
104	特集Ⅱ	若者が伝える、私の3.11
110		学び舎の思い出 浪江小学校
114		幾世橋小学校
118		請戸小学校
122		大堀小学校
126		荀野小学校
130		津島小学校
134		浪江中学校
138		浪江東中学校
142		津島中学校
146		浪江町立小・中学校における休校・閉校までの経緯

あの日から10年、大平山霊園から朝日を望む（撮影／2021年3月11日）

149 第三章 町のこし 浪江を取り戻すために

これまでの町の復旧・復興の主な取り組みを分野別で振り返ります。まちづくりに尽力する方、ふるさとにエールを送る方など、町民の声も併せてご紹介します。

150 除染・拠点整備

154 住まいの再建・絆維持

158 教育

162 医療・福祉

166 農林業

170 漁業

174 商工業

178 伝統芸能

182 住民意向調査

184 特集Ⅲ ふるさとへの想い、それぞれの決断

189 第四章 ふるさと再生 持続可能なまちづくりへ

持続可能なまちづくりを目指す町の現在の様子をご紹介します。ふるさと再生の今後のビジョン、そして次代に残したい東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所の事故（以下、原発事故という）の教訓を伝えます。

190 現在の町の復旧・復興の状況

192 空から見たふるさとの現在

195 未来へ生まれ変わりつつある浪江町

198 ふるさと創生 吉田数博町長が語る

東日本大震災・原発事故から10年
浪江町が目指す「持続可能なまちづくり」

202 東日本大震災十周年追悼式・慰霊祭

203 次代に伝えたい私たちの想い

219 資料編